

レグラス パワーフローセット KOTOBUKI

取扱説明書

このたびは当社製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本書では、当社製品をご使用になる人や、他人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ず守っていただきたいことを、次のように説明しています。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

安全にお使いいただくために

必ずお読みください。

■ご使用の際には、次のことを守ってください。

警告 ●本製品は、物を当てたり、叩いたり、乱暴に扱ったりしないでください。割れたり、変形して水漏れをおこす原因になります。

注意 ●風通しが悪く、水槽周辺が極端な温度差になる場所や、直射日光が当たる所には設置しないでください。周辺温度が10～30℃範囲内で、ほぼ一定の温度が保てる場所に設置してください。
●お手入れの際には、シンナーや洗剤などの薬品は使用しないでください。
●毎日、パイプの取り付け状態が正常か確認してください。給水パイプやオーバーフローパイプが外れると水槽の水がろ過槽に落ち、ろ過槽から水が溢れます。特に大型魚などを飼育される場合は、注意してください。
●お手入れの際などにポンプの作動を止めた場合や停電時は、水槽の水位がオーバーフローパイプ上部まで下がり、水がろ過槽に落ちますので、ろ過槽の水位は、その水量を見越した水量にしてください。

オゾン発生装置や直接照射タイプの殺菌灯などを使用されるとゴム・樹脂パーツを著しく劣化させますのでご注意ください。

1 オーバーフローパイプの組み立て

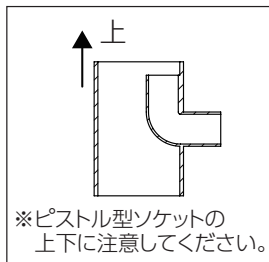
配管組図

①～⑩の順番に従って取り付けてください。

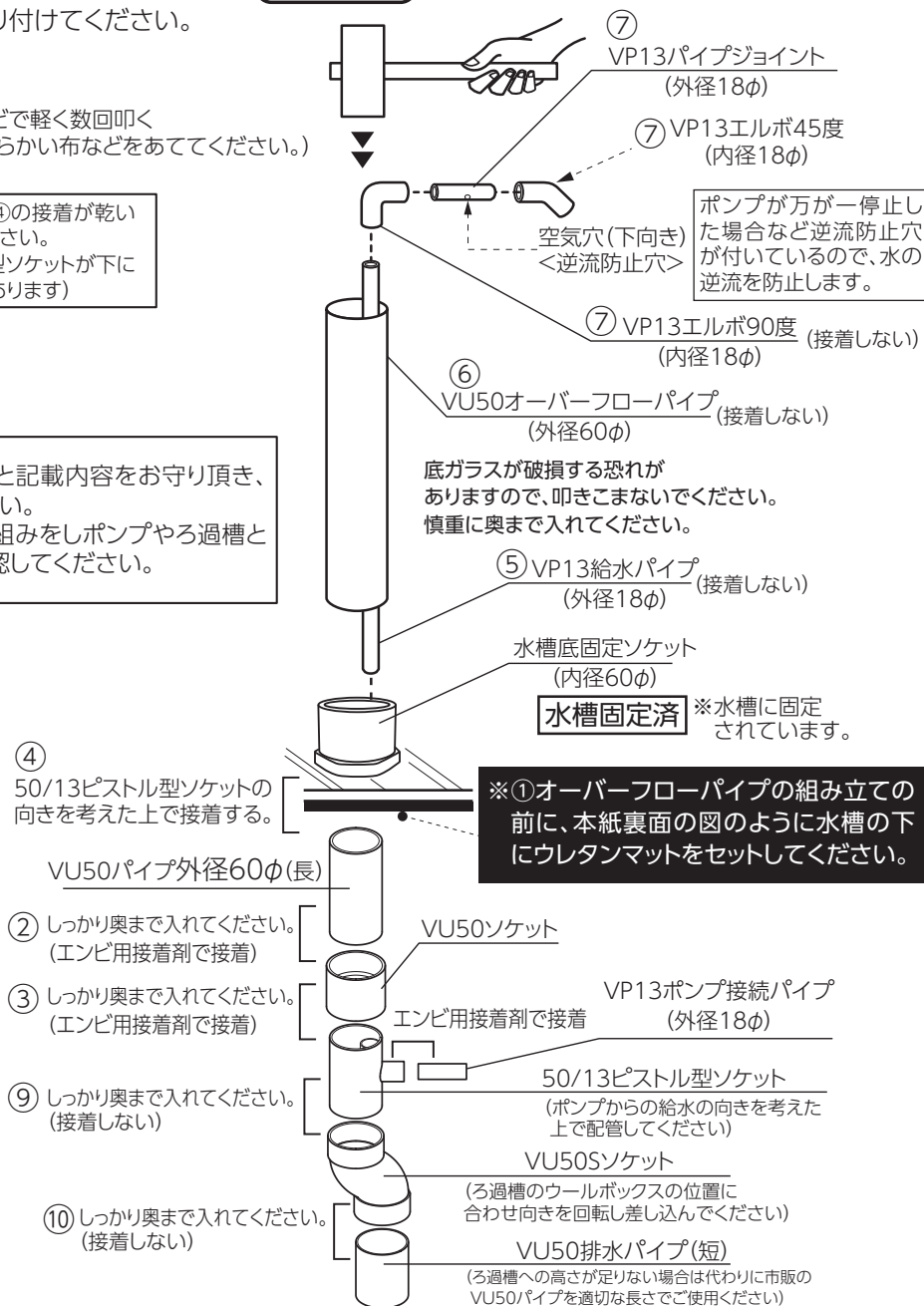
⑧ 最後に木槌やゴムハンマーなどで軽く数回叩く(割れや傷が付かないように柔らかい布などをあててください。)

必ず下記②、③、④の接着が乾いてから叩いてください。(50/13ピストル型ソケットが下に落ちる可能性があります)

●各種パーツは右記手順と記載内容をお守り頂き、組み立てを行ってください。
※配管接着の前に必ず仮組みをしポンプやろ過槽との配管位置を事前に確認してください。



※ピストル型ソケットの上下に注意してください。



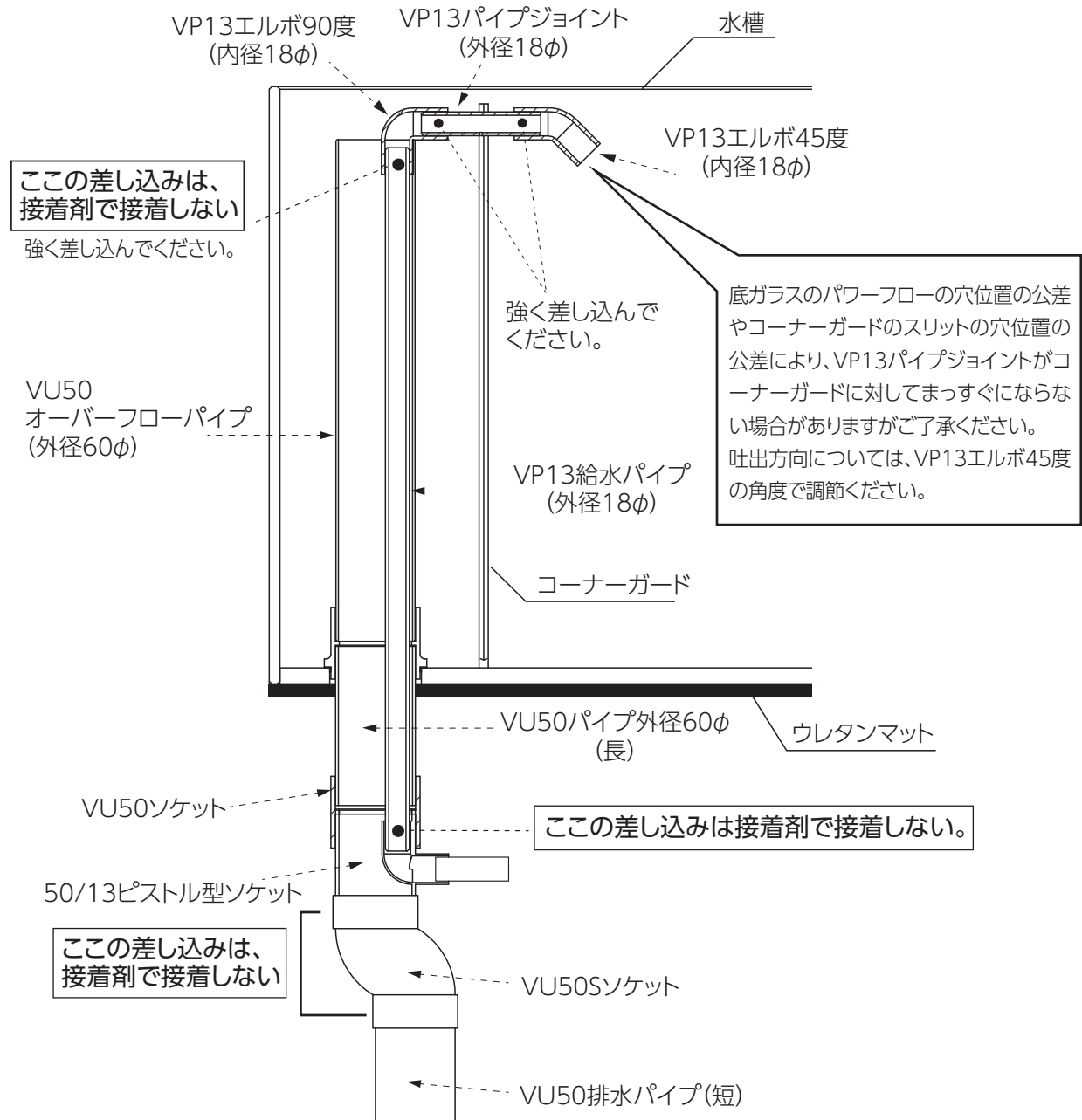
底ガラスが破損する恐れがありますので、叩きこまないでください。慎重に奥まで入れてください。

ポンプが万が一停止した場合など逆流防止穴が付いているので、水の逆流を防止します。

※水槽に固定されています。

※①オーバーフローパイプの組み立ての前に、本紙裏面の図のように水槽の下にウレタンマットをセットしてください。

配管断面図



この差し込みは、接着剤で接着しない。強く差し込んでください。

VU50 オーバーフローパイプ (外径60φ)

VU50ソケット

この差し込みは、接着剤で接着しない

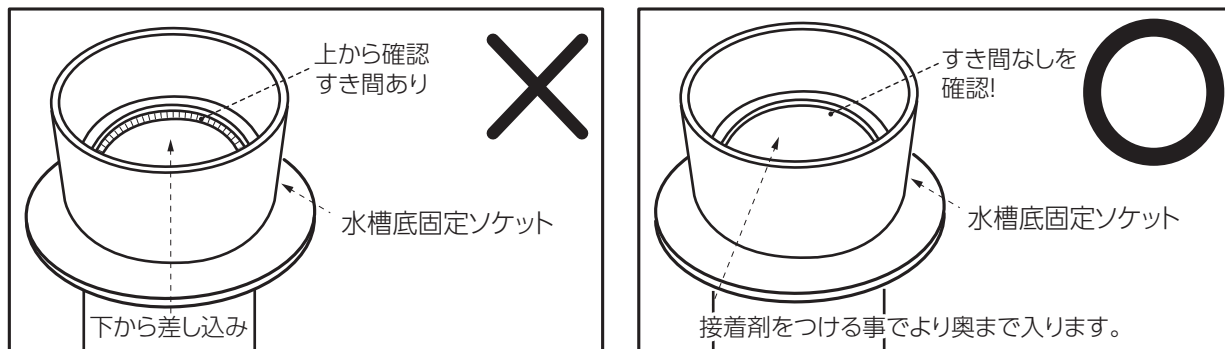
※本製品の配管パーツの長さは指定箇所に接着をした想定長さです。必ず市販のエンビ用接着剤で指定箇所を接着してください。
※配管接着後、各接続部分から水漏れがないかご確認ください。
※組み立て不良、接着不良による損害はいかなる場合も弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。
※VU50排水パイプはプロスタイル(Lowは除く)シリーズとデラックスフィルターを使用した場合での長さで設定されています。

底ガラスのパワーフローの穴位置の公差やコーナーガードのスリットの穴位置の公差により、VP13パイプジョイントがコーナーガードに対してまっすぐにならない場合がありますがご了承ください。吐出方向については、VP13エルボ45度の角度で調節ください。

重要! 接着箇所の配管接続について。

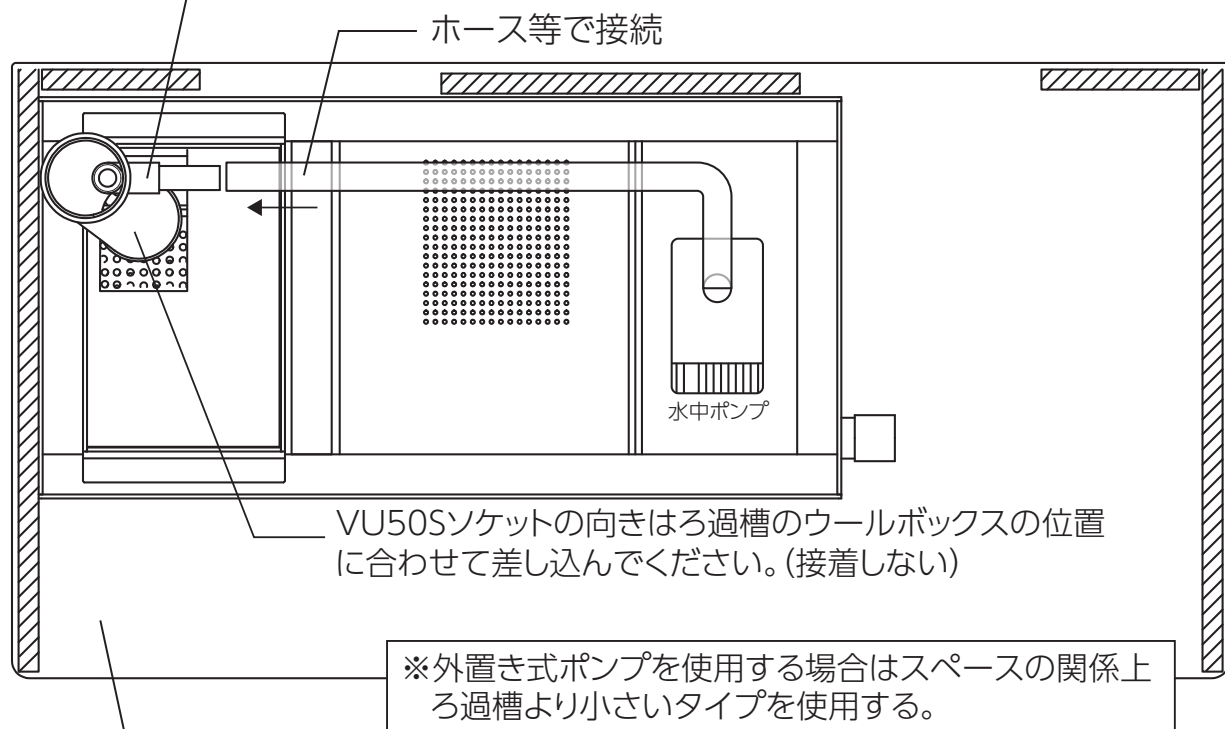
目視できる箇所は最後まで配管が差し込まれている事を確認してください。
(市販の塩ビ用接着剤を使用してください。)

一部例



水槽台内部の設置例

50/13ピストル型ソケットおよびVP13ポンプ接続パイプの向きは
設置するポンプの場所を決定してから接着してください。

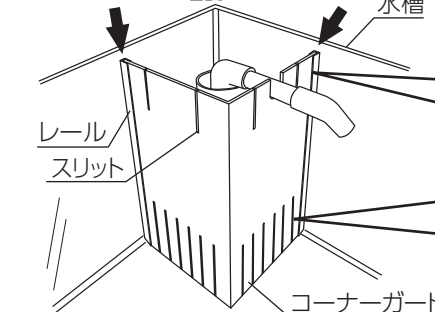


ろ過槽例:デラックスフィルター

2 仕様

●コーナーガードはレール部にしっかりとハマっているか確認してください。

はまっているか確認

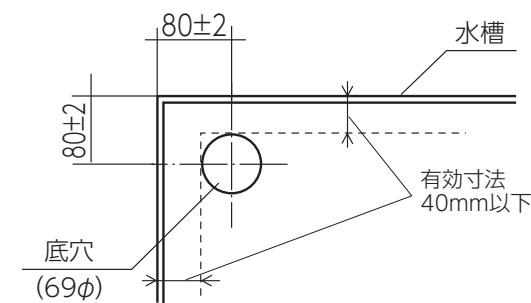


ご注意

スリット部にゴミ詰まりなどがないか定期的には必ず確認を行ってください。同様にパイプ類などにもゴミ詰まりがないか確認を行ってください。ゴミを放置すると重大な事故に繋がる可能性があります。(水槽の水がふれる原因となります)

オーバーフロー穴位置

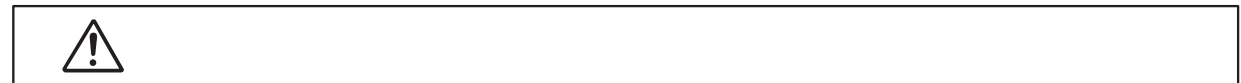
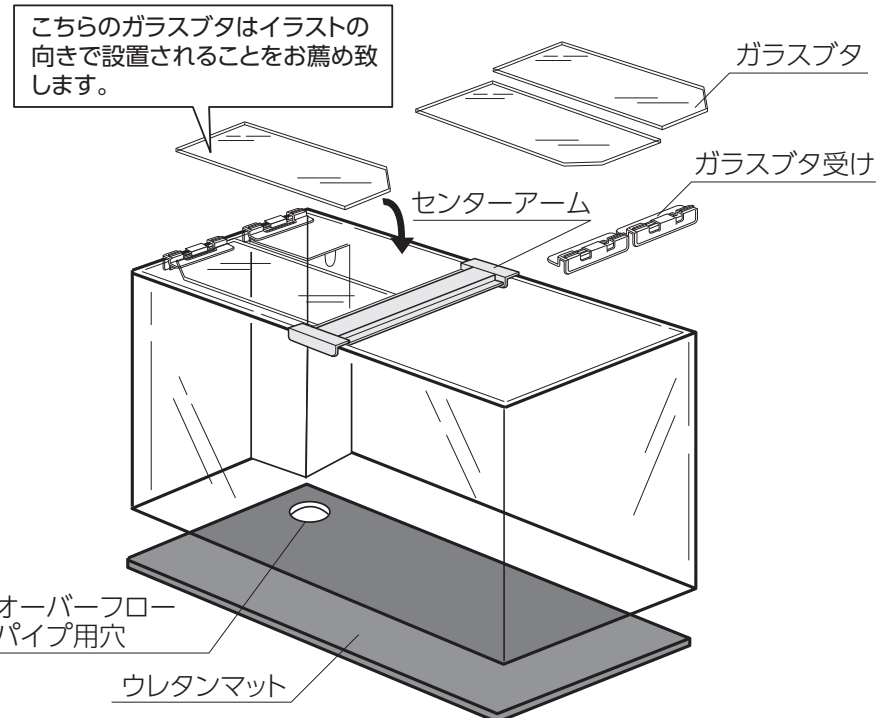
●水槽の底の穴位置(中心位置)は、水槽外側より80±2mmの位置にあります。



■必ず水槽の下に付属のウレタンマットを敷いてご使用ください。ウレタンマットを敷かずにご使用されると水槽の割れや水漏れの原因になります。

(底ガラスの穴にウレタンマットがかぶらないように設置してください)

■900L/1200Lのガラスブタをご使用の際は、センターアームを下図のようにはめ込んでください。センターアームは中央にはめてください。中央からずれるとガラスブタが落ちる原因になります。(600サイズの水槽には、センターアームは付属されていません)



お客様相談窓口 ☎0743-66-2777

受付時間:土日祝を除く、月～金曜日
 AM9:00～12:00 PM1:00～4:00

本書の記載内容の一部または全部を、無断転載することはかたくお断りします。

All Rights Reserved, Copyright ©2017 Kotobuki Kogei Co., Ltd. 170522© 0000K